HDL-AVシリーズ

必ずお読みください

B-MANU200311-01

本紙ではLANDISK「HDL-AVシリーズ」をご使用いただく際のご注意などについて説明しています。
必ずお読みになり、本紙を保管しておいてください。
本製品のセットアップ方法については、かんたんセットアップガイド（別紙）をご覧ください。

こんな時には

本製品をネットワークに接続した後の使い方が分からない

［コンピュータの検索］などで「landisk」を検索して、アクセスできます。詳しくは、別紙【かんたんセットアップガイド】やオンラインマニュアルの【使ってみよう】をご覧ください。

USBハードディスクを増設したい USBプリンタを接続したい

オンラインマニュアルの【ハードディスクやプリンタを増設する】をご覧ください。
対応USB機器については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。

本製品のデータのバックアップや本製品にアクセス権を設定したい

バックアップやアクセス権の設定その他は本製品の設定画面から設定できます。設定画面の開き方は、オンラインマニュアルの【設定画面を開く】をご覧ください。

Mac OSから使用できない

本製品は、出荷時設定でAppleShareネットワーク（Macユーザー）がoff（無効）に設定されています。
使用できるようにするには、本製品の設定画面で、［AppleShareネットワーク］をon（有効）にする必要があります。
方法については、オンラインマニュアルの【使ってみよう】→【パソコンからの本製品へのアクセス方法】の個所をご覧ください。
なお、本製品の設定にはWindowsパソコンが必要です。
Windowsパソコンから上記設定を行ってください。

かんたんセットアップガイドの通りに接続したが、本製品が使用できない

DHCPサーバから本製品のIPアドレスが取得できていないことが考えられます。接続しているネットワークのDHCPサーバ（ブロードバンドルータやルータタイプのADSLモデムなど）が正常に起動していることをご確認ください。

ネットワーク内にDHCPサーバとなる機器（ブロードバンドルータやルータタイプのADSLモデムなど）が無いことが考えられます。
この場合、ネットワークに接続後、本製品のIPアドレスを固定値に設定する必要があります。
方法については、別紙【かんたんセットアップガイド】やオンラインマニュアルの【ここをクリックして、セットアップ開始】の個所をご覧ください。

お使いのパソコンで、ファイヤーウォールソフトがインストールされている場合は、いったん無効にして再度接続できるかお試しください。

その他、困ったときには

オンラインマニュアルの**【困ったときには】**をご覧ください。

オンラインマニュアルの見かた

本製品の仕様、各部の名前とはたらき、動作環境、より詳しい設定方法などについては添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。

Windowsの場合

①添付のCD-ROMをパソコンにセットします。
②自動で表示されるメニューから、［オンラインマニュアル］→［読む］を順にクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、［マイコンピュータ］などからCD-ROMを開き、Autorun.exeをダブルクリックしてください。

Mac OSの場合

①添付のCD-ROMをパソコンにセットします。
②表示されたCDのアイコンを開きます。
③MACSTART.HTMをダブルクリックします。

DLNA（Digital Living Network Alliance）について

DLNAとは，ホーム・ネットワークでデジタルAV機器同士やパソコンを相互に接続し、動画、静止画、音楽などのデータを相互利用する仕様を策定するために設立された業界団体のことです。
本製品は、DLNAインタオペラビリティーガイドラインv1.0に基づいて設計されています。

※「DLNAガイドライン対応」
この商品は音楽、映像などのコンテンツの種類に応じ、DLNAインタオペラビリティーガイドラインv1.0に基づいて設計されています。
「DLNAガイドライン対応」の商品は正式なDLNA認証に向けて用意されたもので、将来アップグレード を行う可能性があります。
“Designed to DLNA Guidelines”
This Product has been designed to DLNA Interoperability Guidelines v 1.0 for products in its class (audio, video, or audio/video).
“Designed to DLNA Guidelines” devices are working towards getting full DLNA certification, and are field upgradeable to allow for future enhancements.

本製品をDLNAとして使用時の注意

本製品をホーム・ネットワークに接続すれば、DLNAサーバとして動作し、本製品に動画、静止画、音楽データをコピーすれば、DLNAクライアント（DLNA対応のプレーヤーなど）から再生・閲覧することができます。

■複数台のDLNAクライアントで再生する場合、コンテンツによっては転送が途切れ、コマ落ちする場合があります。
■本製品の「DLNA Server機能」と「AveL LinkServer機能」はどちらか1つを有効にしてご使用ください。
■ご利用可能なファイル形式

種 類	対応ファイル拡張子
動 画	mpg　mpeg　mpa　mpeg2　vob wmv　asf　avi
写 真	jpeg　jpg　png　bmp
音 楽	mp3　wma　wav　pcm　lpcm

※上記拡張子であっても、再生できないファイルもあります。
※対応ファイル拡張子の最新情報は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）にてご確認ください。

使用上のご注意

本製品を使用する上で守っていただきたい注意です。必ずお読みください。

全般の注意

■動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源は切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
■本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。（故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。）
■本製品の設定にはWindows NT以外のWindowsパソコンが必要です。（Macintoshからは設定できません。）
■本製品で専用フォーマットにてフォーマットした増設用ハードディスクは、抜き差ししたり、別のLANDISKで使用することはできません。
取り外す場合は、必ず、設定画面の［ディスク削除］を行う必要があります。
ただし、［ディスク削除］を行った場合、再度接続しても使用できませんのでご注意ください。
■DHCPサーバーがある環境では、本製品は自動的にDHCPサーバーよりIPアドレスが割り当てられるため、本製品のIPアドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCPサーバーのない環境（パソコンにそれぞれ固定のIPアドレスを設定している環境）では、ネットワークに応じたIPアドレスを設定する必要があります。（設定方法は、別紙【かんたんセットアップガイド】やオンラインマニュアルをご覧ください。）
■本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。
本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
■本製品を複数台ネットワークに導入する場合は、本製品のIPアドレスとLANDISKの名前をそれぞれ別々にする必要があります。
（設定方法は、オンラインマニュアルをご覧ください。）

本製品および増設ハードディスクのデータ管理について

■本製品のデータは万一に備えて、増設ハードディスクなどに定期的にバックアップをお取りください。
本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
■設定画面で表示されるハードディスク使用領域とWindowsからネットワークドライブに割り当ててプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。
本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。
正しい使用領域は、本製品の設定画面からご確認ください。
■設定画面上から行うハードディスクの簡易チェックに要する時間は、ハードディスクの状態や容量により大きく異なります。
通常は、非常に短い時間で終了しますが、ハードディスクの状態により、数分から数十分程度の時間を要することがあります。
■ACCESS（アクセス）ランプ点滅中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。
故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
■本製品の管理者は、すべての共有フォルダにアクセスする権限をもっています。セキュリティのため、共有フォルダにアクセス時のパスワードを定期的に変更することをおすすめします。
■ファイルコピー中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切るとコピーの処理が正常に行われません。本製品や増設用ハードディスクのACCESS（アクセス）ランプを確認の上、電源を切ってください。
■Windows 98から本製品へのファイルコピー中にLANケーブルが抜けるなどして中断された場合、コピー途中のファイルが本製品上に残り消去できなくなる場合があります。
この場合は、いったん本製品の電源を切り、再度起動してからコピー途中のファイルを削除し、コピーをやり直してください。

ネットワークで共有する場合の注意

■ファイヤーウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。
その場合、ファイヤーウォールソフト側で、137～139番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。
■Windows Meの場合、4GB以上のファイルサイズはネットワーク経由では扱えません。
■Windows 98（SE含む）の場合、2GB以上のファイルサイズはネットワーク経由では扱えません。
■接続可能端末数について
本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

Windowsパソコン	推奨する同時接続台数は16台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）
Mac OSパソコン	推奨する同時接続台数は8台まで（最大30台まで）

■Macintoshで共有する場合、AppleTalkを使用する方法とTCP/IPを使用する方法があります。本製品ではAppleTalkによる接続のみをサポート対象とします。
AppleTalkを使用した場合、2GB以上のファイルはネットワーク経由で扱えません。
■DLNA Server機能で公開している共有へのファイルアクセスは、他の共有に比べ若干速度が低下します。

本製品で使用できる文字について

■本製品に保存できるファイルやフォルダ名は、OSにより以下の文字数までとなっています。

Windowsパソコン	半角255文字（全角127文字）まで
Mac OSパソコン	半角31文字（全角15文字）まで

■設定画面から本製品の設定を行う際に使用できる文字には制限があります。
詳細については、オンラインマニュアルを参照してください。

共有、ユーザー、グループの設定時の注意

本製品出荷時には、本製品に接続できるすべてのユーザーが読み書きできる［disk］という共有フォルダがあります。
新規に共有フォルダを作成することもできます。

■本製品に作成する共有には、［全てのユーザー］［ユーザー］［グループ］でアクセス制限を設定することができます。
■本製品に登録可能なユーザー数、グループ数は最大90個までとなります。
1グループに登録可能なユーザーは90ユーザーまでとなります。
■ユーザー名とグループ名には同一の名称は使用できません。
ユーザー名と共有名、グループ名と共有名には同一の名称が使用できます。
■ユーザー名とグループ名には数字のみの名称は設定できません。
■コンピュータ名（LANDISK）に、数字やハイフン(-)で始まる名称は使用できません。
■共有名に、スペースは使用できません。
■共有名、グループ名、ユーザー名(小文字のみ)、パスワードはすべて、半角英数字(ASCII文字)のみが有効となります。

USBポートにUSB機器を接続する際の注意

■本製品背面のUSBポートに増設できるUSB機器については、オンラインマニュアルをご覧ください。
■本製品に増設するUSBハードディスクは、下記のフォーマット形式に対応しています。
弊社製LAN-iCN、LAN-iCN2、LANDISKで使用していたハードディスクの場合は、下記のいずれかにてフォーマットしてからご利用ください。

	対応フォーマット形式	
	FAT※1	専用フォーマット※2
本製品での対応	△※3※4	○※3
パソコンに接続した場合	○	×

○：読み書き可
△：読み込みのみ可
×：読み書き不可

※1　FATフォーマットする場合は、ハードディスクをパソコンに接続し、パソコン上からフォーマットしてください。
（方法については、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。）
※2　本製品設定画面の【フォーマット】でフォーマットした場合の形式となります。
※3　Windows Meの場合、4G-1バイトまでのファイルです。
Windows 98（SE含む）の場合、2G-1バイトまでのファイルです。
Mac OSでAppleTalkを使用する場合、2G-1バイトまでのファイルです。
※4　通常使用は読み込みのみしかできません。（2G-1バイトのファイルまでしか使えません。）
ただし、バックアップ機能でバックアップディスクとして使用する時のみ書き込みできます。

■本製品背面のUSBポート（1、2）には、対応機器以外の機器は接続しないでください。
（USBハブも接続できません。最新の対応USB機器は、弊社ホームページhttp://www.iodata.jp/をご覧ください。）
■ファイルコピー中に、USBポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
コピーの処理が正常に行われません。本製品やハードディスクのアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
■USB対応プリンタは、［USBポート2］にのみ接続できます。ただし、プリンタの双方向機能（インク残量の確認など）には対応しておりません。
また、複合機をお使いの場合、プリンタ機能にのみ対応します。（Mac OSからの印刷には対応しておりません。）

本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2005.8.22発行

古紙配合率100％再生紙を使用しています

大豆インキを使用しています

本製品を廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

■ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性があります。

●ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

■情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

使用ソフトウェアについて

■本製品には、GNU General Public License Version2、June 1991に基づいた、ソフトウェアを使用しております。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

ご注意

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、本体内のファームウェアのうち、GPL対象のものを除きお客様に開示、使用許諾を致しません。
また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
8) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
9) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。
(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
10) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
11) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

商標について

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●Apple、Macintosh、Powerbook、iMac、iBook、FireWire、Power Mac、Mac、Mac OS、Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品を接続する場合は、必ずセットアップガイドで接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。
●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
●接続するコネクターやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
●給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。
●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。

禁止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントに接続しないでください。発熱、火災の恐れがあります。

厳守

電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。
ショート、発熱の原因となり、火災、感電の恐れがあります。

厳守

本製品の接続、取り外しの際は、必ずセットアップガイドで、接続・取り外し方法をご確認ください。
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

禁止

本体を濡らしたり、浴室では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
浴室、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

濡れた手で本製品を扱わないでください。
感電や、本製品の故障の原因となります。

厳守

電源ケーブルについては以下にご注意ください。
●必ず添付または指定の電源ケーブルを使用してください。
●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源ケーブルをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源ケーブルの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●電源ケーブルがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●本製品を長時間使わない場合は、電源ケーブルを電源から抜いてください。電源ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

⚠注意

注意

本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かないでください。
周辺に放熱を妨げる物を置かないでください。

禁止

動作中にシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本製品は以下のような場所(環境)で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所　●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
●強い磁力・電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
●水気の多い場所(台所、浴室など)
●腐食性ガス雰囲気中(Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NOxなど)
●静電気の影響の強い場所　●傾いた場所
●保温性・保湿性の高い(じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所での使用(保管は構いません)

禁止

[ACCESS]ランプ点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本製品は精密機器です。以下のことにご注意ください。
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●そばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

禁止

動作中にケーブルを抜かないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本製品内部を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合、柔らかい布で乾拭きしてください。
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使用してください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止

本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

本製品のコネクター部分には触れないでください。
コネクター部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

厳守

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。
接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

注意

本製品(ソフトウェア含む)は、日本国内仕様です。
本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」をご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/

サポートソフト・ファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新をダウンロードしてお試しください。

最新サポートソフト・ファームウェア
http://www.iodata.jp/lib/

② それでも解決できない場合は…

住所：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話：本社…076-260-3644 東京…03-3254-1144
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX：本社…076-260-3360 東京…03-3254-9055
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
3. ご使用のシステムバージョン
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及び、メーカー名
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態(画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

DiXiM Media Clientに関するお問い合わせ

DiXiM Media Clientについてのお問い合わせは、弊社では受け付けておりません。
デジオン サポートセンターへお問い合わせください。

■デジオン サポートセンター
E-mail:support@digion.com
FAX:092-833-6278
(月～金10:00～12:00, 13:00～17:00 祝日、特別休業日を除く)

※ユーザサポートをご利用いただくには、事前にユーザ登録が必要になります。
ユーザ登録方法については、別紙「DiXiM製品 共通ユーザー登録届」をご覧ください。
ご登録いただいていないお客様は、ユーザサポートをご利用いただけない場合がございます。

ユーザー登録

ご登録いただきました情報は、今後の製品創りに活かしてまいります。
また、弊社よりお客様へ連絡を差し上げる際にも利用させていただきます。ぜひご登録ください。
(e-mailアドレスをご登録したご希望の方へは、新製品情報満載のe-mail I・O NewsLetterを定期的にお届けします。)

登録アドレス **http://www.iodata.jp/regist/**

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて
■検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。(厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。)
※データに関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
■弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください
製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています。)、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※保証書はパッケージに印刷されています。
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下記の内容を書いたもの
返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]、日中に連絡可能な電話番号、使用環境(機器構成、OSなど)、故障状況(どうなったか)

●修理品を梱包してください
■上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
■修理は、下記の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。